

令和6年度シラバス (公民)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	公民(政治・経済)	単位数	2単位	学年(コース)	6学年(国際文化コース)
使用教科書	第一学習社『高等学校 政治・経済』				
副教材等	とうほう『政治・経済資料2024』、啓隆社『新政治・経済ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身につけ、グローバル(地域的・地球的)な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係等について客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3 指導の重点

- ①現代社会の諸問題を政治・経済の視点から把握するとともに、それに対応する思想の形成過程と特質について追究させる。
- ②さまざまな資料を用いて学習することで、現代世界の問題点を把握し、問題解決を図ろうとする態度を育成する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとしている。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・提出物などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・提出物などから、総合的に評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小テスト ・提出物などから、総合的に評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 第1節 日本国憲法と現代社会のあり方	1 政治と法の意義と機能 2 法の支配と立憲主義 3 基本的人権の保障と日本国憲法 4 現代社会における新しい人権 5 権利と義務との関係 6 議会制民主主義と世界の政治体制 7 国会の組織と立憲 8 内閣の機構と行政 9 裁判所の機能と司法制度	・民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。 ・日本国憲法の成立過程を理解しながら、日本国憲法のもつ意味について理解する。 ・基本的人権、新しい人権について、意欲的に理解を深め、その本質を把握する。 ・国会、内閣、裁判所等の政治機構にふれながら、主権者としての政治に対する関心を深める。 ・国会・内閣・裁判所の関係とそれぞれの役割について、意欲的に理解する。	14	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
6 7	第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方	1 地方自治制度と住民の権利 2 政党政治と選挙	・望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。 ・地方自治の本旨を理解し、地方分権について関心を高める。	6	・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
8	第3節 市場経済の機能と限界	1 経済活動と市場 2 経済主体と経済循環 3 国民経済の大きさと経済成長 4 物価と景気変動 5 市長の失敗と公害・消費者問題	・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解する。 ・経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。	8	

9	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	1 財政のしくみと租税の意義	・財政の基本的なしくみや役割について理解する。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
	第5節 金融を通じた経済活動の活性化	1 金融のしくみとはたらき	金融の基本的なしくみや役割について理解する。	4	
	10 第6節 経済活動と福祉の向上	1 日本経済の変化と中小企業・農業問題 2 労使関係と労働問題 3 社会保障制度と福祉のあり方	経済成長とともに人々の生活が豊かになる一方で、公害等の社会問題が発生したことを認識する。 ・消費者問題の現状や消費者運動、さまざまな法制度を新聞記事等の資料を利用して調査する。 ・さまざまな視点で最近の労働問題を理解する。 ・日本の社会保障制度を体系的に捉えるとともに、現在の制度上の問題点と課題について考察する。	8	
11	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治・経済	1 国際社会の変遷 2 国際法の意義 3 国際機構の役割 4 国際紛争と軍縮への取り組み	・国際政治と国内政治の違いを理解する。また、先進国と発展途上国等のように、国家間に格差が生じていることを把握する。 ・国際連合の役割を理解する。 ・民族紛争等を例に、複雑な国際関係を幅広い視点から考察する。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題 ・定期考査
12	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	日本の安全保障と国際貢献	・日本が国際社会で、主としてどのような役割をはたすべきか考察する	4	
1	第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	1 貿易の現状と意義 2 国民経済と国際収支 3 為替相場の変動 4 国際協調と国際経済機関の役割	・グローバリゼーションと地域的経済統合について関心をもち、国際協調のために、どのような国際機関が存在するか、把握する。	6	
2	第4節 国際経済において求められる日本の役割	1 国際経済における日本の地位と国際協力	・国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。	6	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・小テスト ・提出課題
3					

--	--	--	--	--	--

計70時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・問題集
- ・小テスト
- ・評価シート

8 担当者からの一言

「政治・経済」という科目は、政治や経済といった世の中の仕組みを学びながら、社会の構成員として必要な資質や能力を身につける科目です。国際社会に生きる一人の人間として、必要な知識だけでなく、心構えも学んでください。

(担当：樋口 紗和子)